

令和7年度 学校経営・運営ビジョン

富岡町立富岡小学校・富岡中学校

本校児童・生徒の実態

【学習面】

小学校

- 「聞く・考える」力は少しずつ身につけてきているもの、そこから継続して取り組み、さらに高めていこうとする力に課題が見られる。今後も個に応じた指導、授業の質的改善に努めていく必要がある。

中学校

- 学ぶ姿勢が少しずつ基礎的・基本的事項の定着につながってきている。さらに、確実な力・発展的な力にしておくためにも根気強く継続的に取り組む力を育てていく必要がある。

【生活面】

小学校

- 生活体験の弱さもあり、他とのかかわりや根気強さに課題が見られる。個々の特性に応じて継続的に指導していく必要がある。

中学校

- 自分の役割に責任を持って取り組むことものの、自主的な取り組みや継続的な取り組みに課題がある。声かけや称賛の場を工夫し、継続性や創造性を育てていきたい。

【保健安全面】

小学校

- 意欲的に運動に取り組む姿が見られる。めあてに向かって取り組む姿勢をねばり強さにつなげていきたい。

中学校

- 体力や健康に対する意識は高まってきている。さらに、めあてを持って継続的に取り組む力を育てていきたい。
※ 小中系統的なメディア利用に関する指導が必要である。

富岡町教育委員会が目指す学校像「コミュニティの拠点となる学校」

- 1 多世代教育の充実
地域人材の活用、関係機関との連携、交流活動、学校連携
- 2 深い共感から始まる教育
個別最適化された学び、協働的な学び、ICT機器の有効活用
- 3 少人数のよさを生かした教育活動
「自ら考え、判断し、行動できる児童生徒」、小中連携校の強み
- 4 富岡ならではの特色ある教育活動
防災・放射線教育、キャリア教育、PinS事業、EIP9

教育目標

【富岡小】

- 1 進んで考える子
- 2 相手を思いやる子
- 3 ねばり強く取り組む子

【富岡中】

- 1 進んで学ぶ生徒
- 2 思いやりのある生徒
- 3 たくましく根気強い生徒

《共通指導目標》

- ◎夢を見つけ、夢にむかって、努力しよう。
～「課題解決・感謝・根気継続」～
- ◇学びの基盤を固めるための知識・技能の着実な習得
- ◇思考力・判断力・表現力等を育む多様な学びの場の創出
- ◇豊かな人間性や学びに向かう力を養う非認知能力の育成

- 福島県教育委員会
・学校教育指導の重点
・不祥事防止根絶プロジェクト
- 相双教育事務所
・相双教育アピール
- 富岡町教育委員会理念
・一斉授業、画一授業から個別最適化された学びへ
「自ら考え、判断し、行動する児童生徒の育成」



学校経営方針

小学校

- 何事にも目標を持って挑戦し、たくましく生き抜く力を育成する学校
- 「地域を知り、地域を好きになる」信頼される学校づくりを通して、みんなで創る魅力ある学校

中学校

- 目標の実現に向けて挑戦し、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する学校
- 「地域から学び、地域に関わる」信頼される学校づくりを通して、地域の将来を担う子どもを育てる学校

- 1 安全の保障、学習の保障、人権の保障を尊重し、全ての教育活動に組織的に取り組む。
- 2 児童生徒理解を深め、児童生徒の個性・能力の伸長と自立に向けた活動を支援する。
- 3 積極的に教職員の研修を深めるとともに、他校や他機関、地域との連携や協働により教育効果を高める。

【重点目標】 ねばり強くチャレンジしよう！

【確かな学力】・・・課題解決

新たな課題の解決に挑戦しようとする態度を育て、社会で生き抜く確かな学力を身に付けさせる。

【豊かな心】・・・感謝

自ら課題を解決し満足感や成就感を感じる活動を通して自己有用感を高め、人間性豊かな心を育む。

【健やかな体】・・・根気・継続

自ら運動に親しむ態度と健康で安全な生活を送る習慣を身に付けさせ、健やかな心と体を育む。

【努力・実践事項】

- 1 児童生徒一人一人の実態に応じた学習指導を行う。
 - ・児童生徒の実態把握に基づいた個に応じた学習課題及びICTを効果的に活用した授業など、多様で柔軟な学習形態の工夫
 - ・各教科における他との考えの交流・共有を意図したコミュニケーション能力の育成とカリキュラムマネジメントの構築
 - 2 児童生徒が主体的に課題を見つけ、自ら解決をめざし継続的に学ぶ態度を育てる授業を実践する。
 - ・ねばり強く継続的に学ぶ大切さを知り、課題意識を持って取り組む授業の工夫
 - ・意図的、計画的な言語活動の充実により、コミュニケーション能力・表現力の育成を図る。
 - 3 児童生徒に自己マネジメント力を身に付けさせ、基礎学力の確実な定着を図る。
 - ・まとめ(習熟)の時間の確保と振り返り活動の充実、動的な授業
 - ・各学年、各教科間の関連、家庭や小中との連携を図りながら、学習習慣の確立を目指した指導(カリキュラムマネジメント)
- ※ 「授業スタンダード」「家庭学習スタンダード」の活用
※ 「活用力育成シート」「定着確認シート」等の活用

【努力・実践事項】

- 1 児童生徒主体の活動を充実させ、主体性を育み、成就感や達成感を味わわせる。
 - ・目標を持ち、よりよい学校生活を送ろうとする態度の育成
 - ・自ら課題を見つけ、解決をめざす活動の工夫
 - 2 体験活動やボランティア活動を通して他と関わり、感謝の気持ちを大切に豊かな心を育てる。
 - ・体験活動・職場体験やボランティア活動、地域社会との交流などの積極的な取組(学校行事・道徳等と関連させて)
 - ・読書活動の充実による幅広いものの見方や考え方の育成
 - 3 「特別の教科 道徳」の時間を核とした道徳教育の充実を図り、小中学校それぞれの重点価値を定め、児童生徒の道徳性を高める。
 - 小学校:「親切、思いやり」「感謝」「個性の伸長」
 - 中学校:「希望と勇気、克己と強い意志」「自主・自律、自由と責任」
 - ・多面的、多角的に考え、議論させる授業実践(地域人材の活用、ブロック・全体授業、小中連携、他校との連携)
 - ・道徳の時間と他領域の諸活動との関連を図る計画的な指導(学んだ価値を学校生活・行事等で生かす、活動から価値を見出す)
- ※ 「ふくしま道徳教育資料集」、「私たちの道徳」等の活用

【努力・実践事項】

- 1 学校の教育活動全体を通して、運動に親しむ態度と体力の上を図る。(EIP9プロジェクト等の実践)
 - ・体力・運動能力の実態把握と課題の分析及び共通理解による指導の充実(新体力テストの活用)
 - ・児童生徒自身が課題を意識し、目標を持ってその達成に向け根気強く挑戦させる指導の工夫(学習カードの活用)
 - 2 健康や安全に関心を持たせ、自ら生活習慣を改善しようとする意欲を高める。
 - ・一人一人の生活習慣の把握と課題の分析及び家庭との連携
 - ・各教科と関連させた保健指導や食育の充実
 - ・地域や関係機関と連携した実効性のある防災教育や放射線教育の推進
 - 3 家庭や専門家と連携し、児童生徒の心のケアを充実させる。
 - ・児童・生徒理解を深めるための家庭との連携と教育相談の充実、情報の共有化
 - ・SCや専門機関などとの連携、研修機会の設定
- ※ 「運動身体づくりプログラム」、「防災教育指導資料」、「放射線等に関する指導資料」、「自分手帳」等の活用

学校運営(日常の充実した教育活動の推進)

保護者や地域及び関係機関との連携

- ・授業参観や保護者懇談会、「学校を応援する会(仮称)」
- ・学校、学年だより、保健だより、HPなどによる情報発信
- ・地域、関係機関と連携した計画・実践・評価・改善
- ・ボランティア活動の実施、地域行事への積極的参加

施設・設備の充実

- ・校舎及び体育館の施設設備の整備、バリアフリー化
- ・図書、情報機器利用の促進、タブレットの活用
- ・定期的な安全点検と関係機関との連携

教員の資質向上

- ・研修の推進、小中それぞれのよさの共有(現職教育、特別支援教育への理解、ICT活用等)
- ・学び合い、協力し合い、声を掛け合う教師集団
- ・不祥事根絶(明るく風通しのよい職場づくり)